

市町村名	与那原町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	親川拝所整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環 境づくり			
担当部課名	生涯学習振興課	事業実施 年度	平成 24 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化を後世に継承・発信する施設として親川拝所・広場周辺及び管理棟の整備を行う。 ・竣工後は学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	87,512	24,108	36,132	183,431	331,183	
	B. 執行済額	64,757	23,726	a	179,837	268,320	
	うち 交付金充当額	51,803	18,980	230,708	143,869	445,360	
	執行率(%) (B/A)	74.0%	98.4%	#VALUE!	98.0%	81.0%	
執行状況の説明	入札残等により予算現額から執行済額については減額があるが、適切に執行できている。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	歴史の道の駅基本計画策定	目標	基本計画の策定	/	/	/	/
		実績	基本計画の策定完了	/	/	/	/
	「御殿山」周辺整備工事	目標	実施設計の策定	周辺整備工事の実施	/	/	/
		実績	実施設計の策定完了	周辺整備工事の完了	/	/	/
親川拝所整備及び管理棟建築工事	目標	整備基本計画の策定	広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定	整備実施設計・建築基本設計 ・物件調査業務 ・事業認定図書作成業務	実施設計 ・用地購入 ・物件補償 ・旧施設取壊工事	完了	
	実績	整備基本計画の策定完了	広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定の完了	完了	完了	完了	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	歴史の道の駅基本計画策定	目標	基本計画の策定	/	/	/	/
		実績	基本計画の策定完了	/	/	/	/
	「御殿山」周辺整備工事	目標	実施設計の策定	周辺整備工事の実施	/	/	/
		実績	実施設計の策定完了	周辺整備工事の完了	/	/	/
親川拝所整備及び管理棟建築工事の完了	目標	整備基本計画の策定	広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定	整備実施設計・建築基本設計 ・物件調査業務 ・事業認定図書作成業務	実施設計 ・用地購入 ・物件補償 ・旧施設取壊工事	完了	
	実績	整備基本計画の策定完了	広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定の完了	完了	完了	完了	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R4年度 目標/発現年度
	親川拝所及び広場来場者数		目標	10,400人			
			実績	約11,000人			
			目標				
		実績					
状況説明	【令和4年度】 ・近隣施設(軽便駅舎与那原駅)への年間来訪者数約7,000人、与那原大綱曳への参加者数約4,000人、及び関連拝所巡りでの来場者数、日々の活用状況から来場者を計上した。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和4年度】 ・広場整備及び管理棟の整備、また駐車場の整備を行ったことで来訪者の利便性が向上し、観光客に限らず小学校の社会科見学や保育施設等の来館も増え、年間を通して稼働率の向上と学びの場の提供につながっている。			【令和4年度】 ・管理棟の展示スペースの刷新と充実を図ることで、観光面だけでなく学校教育及び生涯学習の観点から来訪者の増加や継続的活用につなげ、さらなる町の歴史文化の学びの場の提供及び魅力発信を図る。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【令和4年度】 ・周辺の歴史文化発信施設及び観光施設と連携を図ることで、来訪者のさらなる増加と、町の魅力発信を目標とする。 ・周辺施設も含め、インターネットやマスコミを通じて整備後の周知度を上げる。							

市町村名		与那原町					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	水難救助車整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防衛体制の強化		
担当部課名	東部消防	総務課	事業実施 年度	~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)	
事業内容	海水浴やマリレジャーを楽しむ観光客等ビーチ利用者の水難事故や災害への消防活動の機能強化を図るため、水難救助車の整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	17,640				17,640	
	B. 執行済額	17,640				17,640	
	うち 交付金充当額	14,112				14,112	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	事業の計画とおり、令和3年度にて予算執行済みである。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	水難救助車の配備(1台)	目標	1台				
		実績	1台				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度	
	水難救助車の配備完了(1台)	目標	(水難救助車の 配備完了)				
		実績	(水難救助車の 配備完了)				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			R4年度	○年度	○年度	○年度	○年度
						○年度 目標/発現年度	
状況説明	・水難救助訓練(35回/年)	目標	35回				
		実績	30回				
	目標						
	実績						
<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速に救助活動に入れるよう水難救助体制を強化するための訓練(30回/年)を行ったが、目標値より下回った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため合同訓練等の回数を制限したため目標回数を下回った。 ・各警備課で水難救助隊員を中心に車両取扱い訓練を実施。迅速で効率的な活動を行える体制づくりを行った。 ・水難車の出動件数は3件で、事故後時間の経っており死亡確認等の活動となる。 ・イベント等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために規模縮小や開催が中止となったため参加なし。 							

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年30回の潜水訓練にて車両及び資器材の取り扱い訓練を行った。 ・迅速出動につなげることが可能になった。 ・夜間の水難事故事案時に、照明器具を使用し早期の要救助者の発見に至った。 ・1台の車両でまとまって出動することで車内ミーティングが可能となり、現場到着後すぐに救助活動を開始することが出来た。 	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上で活動を行う隊員の車両操作、資器材取扱訓練が少なかったため、各隊員の習熟度向上を図る必要がある。
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数ある資器材の取り扱い訓練、車両取扱い訓練を実施する。イベント等や他消防本部との合同訓練を実施し安心してビーチ利用ができることをアピールし観光振興に寄与する。
